

AVG Email Server Edition 2012 ユーザー マニュアル

ドキュメント改訂 2012.06 (2/28/2012)

Copyright AVG Technologies CZ, s.r.o. All rights reserved. 他のすべての商標はそれぞれの所有者に帰属します。

この製品は、RSA Data Security, Inc. の MD5 Message- Digest Algorithm を使用しています。Copyright (C) 1991-2, RSA Data Security, Inc. Created 1991 この製品は、C-SaCzech libraryのコードを使用しています。Copyright (c) 1996-2001 Jaromir Dolecek (dolecek@cs.muni.cz). この製品は、圧縮ライブラリzlib を使用しています。Copyright (c) 1995-2002 Jean- loup Gailly and Mark Adler.



目次

1.	はじめに .			4
2.	AVG インス ┝─ ル要件			5
	2.1 対応オペレーティング	システム		5
	2.2 対応電子メール サー	バー		5
	2.3 ハードウェア要件			5
	2.4 古いバージョンのイン	ストール		5
	2.5 MS Exchange サービ	スパック		6
3.	AVG インストール処理			7
	3.1 インストールの実行			7
	3.2 ライセンスのアクティイ	ベート		8
	3.3 インストール タイプのう	選択		9
	3.4 カスタム インストール	- カスタム オプション		0
	3.5 インストール完了			1
4.	MS Exchange Server	2007/ 2010 向けメール	スキャナ 1	3
	4.1 概要			3
	4.2 MS Exchange 向けメ	ール スキャナ (ルーティング	TA) 1	6
	4.3 MS Exchange 向けメ	ール スキャナ (SMTP TA)		7
	4.4 MS Exchange 向けメ	ール スキャナ (VSAPI)		8
	4.5 検出アクション			1
	4.6 メール フィルタリング			2
5.	MS Exchange Server	2003 向けメールスキャナ	2	4
	5.1 概要			:4
	5.2 MS Exchange 向けメ	ール スキャナ (VSAPI)		7
	5.3 検出アクション			0
	5.4 メール フィルタリング			1
6.	AVG for Kerio MailSe	erver		2
	6.1 構成			2
	6.1.1 ウィルス対策			2
	6.1.2 添付ファイル こ	フィルタ		2
7.	スパム対策設定 …			6
	7.1 スパム対策インターフ	[/] エース		6



9.	FAQ およびテクニカル サポート	 51
8.	AVG 設定マネージャ	 48
	7.8 エキスパー 設定	 47
	7.7 ブラックリスト	 46
	7.6 ホワイドリスト	 45
	7.5 RBL	 44
	7.4 パフォーマンス	 43
	7.3.3 メッセー ジ フィル タリング オプション	 38
	7.3.2 メッセージのあるフォルダを選択	 38
	7.3.1 スパム対策学習ウィザード	 38
	7.3 スパム対策設定	 38
	7.2 スパム対策の原理	 38



1. はじめに

このユーザー マニュアルは、AVG Email Server Edition 2012 の包括的なマニュアルです。

AVG Email Server Edition 2012 をご購入いただき、どうもありがとうございます。

AVG Email Server Edition 2012 は、サーバーの総合的なセキュリティを提供するように設計された、 受賞経験のある AVG 製品の1つです。 すべての AVG 製品 と同様に、 AVG の信頼性のあるセキュリ ティ機能をより分かりやすく 効率的な方法で提供するために、 AVG Email Server Edition 2012 は 完全に再設計されました。

AVGは、コンピュータとネットワークアクティビティの保護を目的として設計、開発されています。AVGによる完全な保護をぜひ体感してください。

注意: このドキュメントでは、特定の電子メールサーバー版の機能について説明しています。他のAVG 機能に関する情報が必要な場合は、ユーザーガイドのInternet Security版を参照してください。すべ ての必要な詳細について説明しています。このガイドは、<u>http://www.avg.com</u>からダウンロードできま す。



2. AVG インストール要件

2.1. 対応オペレーティング システム

AVG Email Server Edition 2012 は、次のオペレーティング システムで稼動する電子 メール サーバーの保護を目的 としています。

- Windows 2008 Server Edition (x86 および x64)
- Windows 2003 Server (x86, x64) SP1

2.2. 対応電子メール サーバー

次の電子メールサーバーがサポートされています。

- MS Exchange 2003 Server バージョン
- MS Exchange 2007 Server バージョン
- MS Exchange 2010 Server バージョン
- Kerio MailServer バージョン 6.7.2 以上

2.3. ハードウェア要件

AVG Email Server Edition 2012 の最低ハードウェア要件:

- Intel Pentium CPU 1.5 GHz
- ハードディスク空き容量 500 MB以上 (インストールのため)
- 512 MB の RAM メモリ

AVG Email Server Edition 2012 の推奨ハードウェア要件:

- Intel Pentium CPU 1.8 GHz
- ハードディスク空き容量 600 MB以上 (インストールのため)
- 512 MB の RAM メモリ

2.4. 古いバージョンのインストール

古いバージョンの AVG Email Server をインストールしている場合は、手動でアンインストールしてから AVG Email Server Edition 2012 をインストールする必要があります。標準の Windows 機能を使用 して、古いバージョンを手動でインストールできます。

• スタートメニューから[スタート/設定/コントロールパネル/プログラムの追加と削除]を選択し、



インストール済みソフトウェアのリストから該当するプログラムを選択します(または、メニューから[*スタート/すべてのプログラム/AVG/AVG のアンインストール*]を選択する方が簡単かもしれま せん)。

以前にAVG 8.x 以前のバージョンを使用した場合は、必ず個々のサーバープラグインもアンインストールしてください。

注意:アンインストール処理中に、ストアサービスを再起動する必要があります。

プラグインの交換 - /uninstall パラメータを使用して、プラグインがインストールされたフォルダから setupes.exe を実行します。

例] C:\AVG4ES2K\setupes.exe /uninstall

Lotus Domino/Notes プラグイン - /uninstall パラメータを使用して、プラグインがインストールされたフォルダから setupIn.exe を実行します。

例: C:\AVG4LN\setupIn.exe /uninstall

2.5. MS Exchange サービス パック

MS Exchange 2003 Server ではサービス パックは必要 ありません。ただし、最高 レベルのセキュリティを 保証 するために、最新 のサービス パックとホットフィックスをインストールして、システムを最新 の状態 に保 つことをお勧めします。

MS Exchange 2003 Server のサービス パック (任意):

http://www.microsoft.com/exchange/evaluation/sp2/overview.mspx

セットアップを開始すると、すべてのシステム ライブラリのバージョンがチェックされます。最新のライブラリを インストールする必要がある場合は、インストーラは.delete 拡張子を付けて古いライブラリの名前を変 更します。このファイルはシステムの再起動時に削除されます。

MS Exchange 2007 Server のサービス パック (任意):

http://www.microsoft.com/downloads/details.aspx?FamilyID=44c66ad6-f185-4a1d-a9ab-473c1188954c&displaylang=en



3. AVG インストール処理

AVG をコンピュータにインストールするには、最新のインストールファイルを入手する必要があります。 パッケージ版の CD にあるインストール ファイルも使用 できますが、 このファイルは古い可能性がありま す。 したがって、 最新 のインストール ファイルをオンラインで入 手 することをお勧 めします。 <u>AVG Web サイ</u> 上 (<u>http://www.avg.com/download?prd=msw</u>) からファイルをダウンロードできます。

メモ: 各製品には 32 ビット オペレーティング システム (x86) と64 ビット オペレーティング システム (x64) 用の2種類のパッケージがあります。必ず使用しているオペレーティングシステムに合った正しいインスト ールパッケージを使用してください。

インストール処理中にはライセンス番号を入力する必要があります。インストールを開始する前にライセ ンス番 号/セールス番 号 を準 備 してください。番 号 は CD のパッケージに記 載 されています。 AVG をオン ラインで購入した場合は、ライセンス番号がメールで送信されます。

インストール ファイルをハードディスクにダウンロードして保存すると、インストール処理を実行できます。 インストールは各 ステップの操作の概要を案内する一連のダイアログで構成されています。次に、各ダ イアログの説明を示します。

AVG ソフトウェア インストーラ AVG AVG インストーラへようこそ AVG とセーフ サーチ機能をインストールしています。 この製品をインストールすることによって、次の AVG 2012 使用許諾契約および AVG <u>公正な処理に関する適知</u> の条項に同意することになります。 -重要:この契約内容を注意深くお読みください。これは、AVG TECHNOLOGIESおよびAVG TECHNOLOGIESに、COLLECTIONより提供されるユーザーによるソフトウェアの使用、特定のサービ ス、および一定の個人情報の使用について適用される法的な契約です。 「承諾」 オプショ ב ンをクリックするか、または付随するソフトウェア製品(本「ソフトウェア」)をインストールすることで、 ーザー(ユーザーの代理人および本ソフトウェアがインストールされたコンピュータの所有者である当 事者)は、これらの諸条件に拘束されることに同意し、および以下にある本契約第9条および当社 の個人情報保護方針に詳細が記載されているとおり フーザーに下る木いつトウェアまたけ木井 AVG プライバシー ポリシー 印刷バージョン(P) 同意しない(D) < 层る 同意する(A)

3.1. インストールの実行

インストール処理は [ようこそ] ウィンドウから始まります。 このウィンドウではインストール処理で使用する 言語を選択し、ライセンス条件に目を通します。 [印刷バージョン」 ボタンをクリックすると新しいウィン ドウでライセンス契約が表示されます。 [同意する] ボタンをクリックして確認し、次のダイアログへ進みま す。

メモ: インストール処理の後半で、アプリケーションインターフェースの言語を追加することもできます。



3.2. ライセンスのアクティベート

[ライセンスのアクティベート]ダイアログではライセンス番号を入力する必要があります。

ライセンス番号を[**ライセンス番号**] テキストフィールドに入力します。ライセンス番号は AVG をオンラインで購入した後に送信される確認メールに記載されています。この番号を記載通い正確に入力する必要があります。デジタル形式のライセンス番号が利用できる場合 (電子メール)は、コピーと貼り付けを使用して入力することをお勧めします。

AVG ህንትウェア インストー	7
AVG.	ライセンスのアクティペート
ライセンス番号:	例: IQNP6-9BCA8-PUQU2-A5HCK-GP338L-93OCB
AVG 2012 ソフトウェアをオンラインで購 ライセンス番号をコピーして。 小売店でソフトウェアを購み 入力してください。	入した場合は、ライセンス番号を電子メールでお送りいたします。入力ミスを避けるために、電子メールから この画面に貼り付けることをお勧めします。 、した場合は、パッケージの製品登録カードにライセンス番号が記載されています。ライセンス番号を正しく
キャンセル	< 戻る

[次へ] ボタンをクリックして、インストール処理を継続します。



3.3. インストール タイプの選択



[*インストール タイプの選択*] ダイアログでは、[*クイック インストール*] と[*カスタム インストール*] の 2 つのインストール オプションから選択 できます。

通常ユーザーの場合は、[**クイック インストール**]を選択し、プログラム ベンダーが事前定義した設定 を使用して AVG を自動モードでインストールすることが強く推奨されます。この設定は、最適なリソース 消費で最大のセキュリティを実現します。将来的に設定の変更の必要が生じた場合は、いつでも AVG アプリケーションで直接変更できます。

カスタム インストールは、AVG を標準設定でインストールしない合理的な理由がある場合、経験のあるユーザーのみが行ってください(特定のシステム要件への適合など)。



3.4. カスタム インストール - カスタム オプション

AVG ソフトウェア インストーラ	X
AVG . Email Server Edition	カスタム オプション
コンボーネントの選択 田・マ 追加言語インストール	その他の利用可能な言語。
 □ ▼ サーバーアドイン □ ▼ サーバーアドイン □ ▼ サーバーアドイン □ ▼ ひっぱ扇管理クライアント □ ▼ 設定マネージャ 	
	デフォルトの
キャンセル	< 展る

[*インストール先 フォルダ*] ダイアログでは、AVG をインストールする場所を指定します。既定では AVG は C ドライブの program files フォルダにインストールされます。この場所を変更する場合は、[*参照*] ボ タンをクリックしてドライプ構成を表示し、対象 フォルダを選択します。

[**コンポーネント選択**] ダイアログでは、インストール可能なすべての AVG コンポーネントの概要が表示されます。既定の設定が適当でない場合は、特定のコンポーネントを追加または削除できます。

ただし、選択 できるコンポーネントは購入 した AVG 製品 に含まれているコンポーネントのみで す。[コンポーネント選択] ダイアログでは、これらのコンポーネントのみをインストール可能 です。

- AVG 遠隔管理 クライアント-AVG を AVG DataCenter (AVG Network Edition) に接続する場合は、このオプションを選択する必要があります。
- *設定マネージャ*-主にネットワーク管理者向けのツールで、AVG設定のコピー、編集、配布ができます。設定をポータブルデバイス (USB フラッシュドライバなど)に保存して、手動またはその他の方法で選択したステーションに適用できます。
- **追加のインストール言語** AVG のインストールで使用する言語を定義できます。[**追加でイン** ストールする言語]項目にチェックを付け、該当するメニューから任意の言語を選択します。

個別のサーバーコンポーネントの基本的な概要 (サーバーアドイン):

Anti-Spam Server for MS Exchange

すべての受信電子メールをチェックし、望ましくないメールをSPAMと見なします。複数の分析 手法を使用して各メールを処理し、望ましくない電子メールメッセージに対する最大限の保護 を提供します。



• E-mail Scanner for MS Exchange (ルーティング転送 エージェント)

MS Exchange HUB ロールを通過するすべての着信、送信、および内部電子 メール メッセージ がチェックされます。

MS Exchange 2007/2010 で使用でき、HUB ロールのみにインストールできます。

E-mail Scanner for MS Exchange (SMTP 転送エージェント)

MS Exchange SMTP インターフェース経由 で着信したすべての電子 メール メッセージをチェックします。

MS Exchange 2007/2010 でのみ使用でき、EDGE ロールおよび HUB ロールの両方 にインストールできます。

• E-mail Scanner for MS Exchange (VSAPI)

ユーザーのメールボックスに保存されているすべての電子メールメッセージをチェックします。 ウィル スが検出されると、 ウイルス隔離室に移動されるか、 完全に削除されます。

メモ: MS Exchange のバージョンによって利用可能なオプションが異なります。

[次へ] ボタンをクリックして続行します。

3.5. インストール完了

モジュール選択で**遠隔管理コンポーネント**モジュールを選択した場合は、この最後の画面でAVG DataCenter への接続時に使用する接続文字列を定義できます。

AVG ህフトウェア インストーラ		
AVG. Email Server Edition	インストールに成功しました	
AVG 2012をインストールしていただきどうもありがと	うございました。	
AVG Data Center 仕様:		
⑦ プライバシー ポリシー に従って 製品改善プログラム に参加す はいかなる個人を特定できる情報も収集せず、お客様にご連	ることでセキュリティを向上します (AVG 絡を差し上げることもありません)。	
	終了任	



AVG はコンピュータにインストールされ、完全に機能しています。 プログラムは完全自動モードでバック グラウンドで実行中です。

電子 メール サーバーの保護を個々に設定する場合は、該当する章に記載されている手順に従ってください。

- <u>MS Exchange Server 2007/2010 向けメール スキャナ</u>
- <u>MS Exchange Server 2003 向 けメール スキャナ</u>
- <u>AVG for Kerio MailServer</u>



4. MS Exchange Server 2007/2010 向けメール スキャナ

4.1. 概要

AVG for MS Exchange Server 2007/2010 構成 オプションはサーバー コンポーネントとして AVG Email Server Edition 2012 と完全に統合 されています。

WG Email Server Edition 2012					
<u>ファイル(E)</u> コンポーネント(<u>C</u>) 界	履歴(<u>5) ツール(T) へ</u>	ルプ(<u>日</u>)			サポート(圧)
AVG. Email Server Edition	完全には、 概要をクリックブ アップデート:	保護されていません。 するとコンポーネント状態が表示。 データベースアップデートは無効	ಶಗಿಕತ. /೭ಶೆಗಿರರುಕತ		
標要		0	Bo	∎ <mark>@</mark>	
サーバーコンポーネント	スパム対策 有効	ビー EMS (ルーティング) 有効	EMS (SMTP) 有効	EMS (VSAPI) 有効	
今すぐスキャン 最終スキャン日時: 2/19/12, 10:15 PM					
スキャン オプション					
すぐにアップデート 最終更新日時: 2/19/12, 10:12 PM					
	スパム対策 Anti-Spam Server for M Anti-Spam Server for M	S Exchange は SPAM メッセー S Exchangeコンポーネントは有	-ジを除外し、フィッシング詐欺 対です。	から保護します。	
通知を表示					

各サーバー コンポーネントの基本概要

• <u>スパム対策 - MS Exchange 向けスパム対策 サーバー</u>

すべての受信電子メールをチェックし、望ましくないメールを SPAM と見なします。複数の分析 手法を使用して各メールを処理し、望ましくない電子メールメッセージに対する最大限の保護 を提供します。

• <u>EMS (ルーティング) - MS Exchange 向 け電子 メール スキャナ (ルーティング転送 エージェン</u> <u>ト</u>)

MS Exchange HUB ロールを通過するすべての着信、送信、および内部電子メールメッセージ がチェックされます。

MS Exchange 2007/2010 で使用でき、HUB ロールのみにインストールできます。

• <u>EMS (SMTP) - MS Exchange 向け電子メールスキャナ (SMTP 転送エージェント</u>)



MS Exchange SMTP インターフェース経由 で着信 したすべての電子 メール メッセージをチェックします。

MS Exchange 2007/2010 でのみ使用でき、EDGE ロールおよび HUB ロールの両方 にインストールできます。

• <u>EMS (VSAPI) - MS Exchange 向け電子メールスキャナ (VSAPI)</u>

ユーザーのメールボックスに保存されているすべての電子メールメッセージをチェックします。 ウィルスが検出されると、 ウイルス隔離室に移動されるか、 完全に削除されます。

重要な注意事項: Hub Exchange ロールでルーティング転送エージェントとともに VSAPI をインストー ルして使用する場合は、電子メールメッセージが2度スキャンされます。これを回避するため、VSAPI 設定の[送信メッセージをスキャンしない (MS Exchange 2007/2010)] ボックスをチェックしてください(<u>こちら</u>をクリックすると詳細を表示します)。

必要なコンポーネント アイコンをクリックすると、インターフェースが開きます。 スパム対策を除くすべてのコンポーネントで次のコントロール ボタンとリンクを利用できます。

WG Email Server Edition 2012					
ファイル(E) コンポーネント(<u>C</u>) 履	履歴(S) ツール(I) ヘルプ(H)	サポート(<u>P</u>)			
AVG. Email Server Edition	完全には保護されていません。 概要をクリックするとコンボーネント状態が表示されます。 アップデート: データ・スアップデートは無効化されています				
概要	メールスキャナ for MS Exchange (VSAPI) コンポーネント				
サーバーコンポーネント	メールスキャナ for MS Exchange (VSAPI) し、ユーザーのメールボックスに格納されるすべての電子メールメッセージをチェックします。ウィルスが検出されると、ウイルス隔離室 つ、に移動されるか、完全に消除されます。				
メールスキャナ for MS Exchange (VSAPI)					
今すぐスキャン 最終スキャン日時: 2/19/12, 10:15 PM	●有效				
スキャン オプション	前回処理日時: 2/19/2012, 10:10 PM チェックされたメールの一部: 1604				
すぐにアップデート 最終更新日時: 2/19/12, 10:12 PM	検出された脅威: 0 検出された感染: 0 検出された PUP: 0 検出された警告: 0 検出された情報: 0				
	ウイルス隔離室へ移動: 0 削除: 0 無視: 0				
	<u>スキャン結果</u> , 統計値の更新, 統計値をリセット				
通知を表示	設定	戻る			

• *スキャン結果*

スキャン結果を確認するための新しいダイアログが開きます。



 AVG スキャ 最新をま 選択項目 From To 	•2結果 示 目を表示		2	. 2 .2012	日以上通信してい <u>・</u> ・ ・	0 20:52:19 20:52:19	5 7 7
○ すべて表 すべて	示	2 <i>ℝ</i> √白τ⊽	蛇生	信奉品		更新	
771112		時友 			脅威名		
						同	55

このダイアログでは、メッセージが重要度に応じて複数のタブに分かれて表示されます。重要度の変更方法とレポート方法については、各コンポーネントの設定を参照してください。

既定では過去2日間の結果のみが表示されます。次のオプションを変更することで、表示期間を変更できます。

- 。 次の過去の期間内の結果を表示 任意の日数と時間数を入力します。
- 。 選択した期間の結果を表示 カスタム日時間隔を選択します。
- o **すべて表示** 期間全体の結果を表示します。

[更新] ボタンをクリックすると 結果 がロードされます。

- 統計値の更新 上記で表示される統計値が更新されます。
- 統計値のリセット-すべての統計値をゼロにリセットします。

次の操作ボタンを利用できます。

- 設定 このボタンをクリックするとコンポーネントの設定が開きます。
- 戻る-このボタンをクリックするとサーバーコンポーネント概要

各コンポーネント固有の設定の詳細については、次の章を参照してください。



4.2. MS Exchange 向けメール スキャナ (ルーティング TA)

*E-mail Scanner for MS Exchange (ルーティング転送 エージェント)*の設定を開くには、コンポーネントのインターフェースから[*設定*]ボタンを選択します。

[サーバー コンポーネント] リストから [MS Exchange 向 けメール スキャナ (ルーティング TA)] 項目 を選択します。

🏭 AVG サーバーコンボーネント設定	
 サーバーコンポーネント Anti-Spam Server for MS Exchange メールスキャナ for MS Exchange 検出アクション メールフィルタリング メールスキャナ for MS Exchange メールスキャナ for MS Exchange 	基本設定 ゴンボーネントを有効化 言語 デフォルトインストール言語 マ メッセージを認証 メッセージには脅威は含まれません
	ログファイルサイズ: 100 MB スキャンプロパティ 回 とューリスティック分析の使用 マ ちゅなうログラムとスパイウェアをレポート 不審なうログラムの拡張セットをレポート マ 不審なうログラムの拡張セットをレポート マーカイブ内部をスキャン 添付ファイルレポート 以下のレポートの自動アクションは、検出アクションサブキー下で特定されました。これらのレポートはシステムの重要性に関するものです。 パスワード保護された文書を報告する マクロを含むファイルを報告する マクロを含むファイルを報告する マクロを含むファイルを報告する
<u>(</u>) デフォルト	

[基本設定] セクションには次のオプションがあります。

- **コンポーネントを有効にする**-チェックを外すとコンポーネント全体を無効にします。
- **盲語**-任意のコンポーネント言語を選択します。
- **メッセージを認証する**-すべてのスキャン済みメッセージに認証を追加する場合はこのチェックを オンにします。次のフィールドでメッセージをカスタマイズできます。

[**ログ設定**] セクション:

• **ログ ファイル サイズ**-任意のログファイルサイズを選択します。既定値は 100 MB です。

[**スキャン プロパティ**] セクション:

• *ヒューリスティックを使用する*-スキャン時にヒューリスティック分析方式を有効にするにはこの



チェックをオンにします。

- **不審なプログラムとスパイウェア脅威を報告する**-このオプションにチェックを付けると不審な プログラムとスパイウェアの存在を報告します。
- 不審なプログラムの拡張設定を報告する-チェックを付けるとスパイウェアの拡張パッケージを検出します。スパイウェアは、製造元から直接取得する場合には完全に問題がなく無害なプログラムですが、後から悪意のある目的で悪用されるおそれのあるプログラムです。また、常に無害ですが、望ましくないプログラムもあります(各種ツールバーなど)。この機能はコンピュータセキュリティと快適性をさらに高めるための追加的な手段ですが、合法的なプログラムもブロックする可能性があるため、既定ではオフになっています。メモ:この検出機能は前のオプションの追加機能です。したがって、基本タイプのスパイウェアに対する保護を適用する場合には、必ず前のボックスにもチェックを付けた状態にしてください。
- アーカイブ内部 をスキャンする アーカイブファイル内 (zip、rar など)もスキャンする場合はこの オプションのチェックをオンにします。

[**電子メール添付ファイルの報告**] セクションではスキャン中に報告する項目を選択できます。チェックを付けると このような項目を含むメールの件名に [INFORMATION] が追加されます。この既定の設定は [検出アクション] セクションの [情報] 部で簡単に修正できます (次を参照)。

次のオプションが利用可能です。

- パスワード保護されたアーカイブを報告する
- パスワード保護されたドキュメントを報告する
- マクロを含むファイルを報告する
- *非表示の拡張子を報告する*

またツリー構造では次の下位項目も利用できます。

- <u>検出アクション</u>
- <u>メール フィルタリング</u>

4.3. MS Exchange 向けメール スキャナ (SMTP TA)

[MS Exchange (SMTP TA) 向 けメールスキャナ] 設定はトランスポートエージェントのルーティングと全 何 じです。詳細については、前述の <u>MS Exchange (ルーティング TA) 向 けメールスキャナ</u>の章をご 覧 ください。

またツリー構造では次の下位項目も利用できます。

- <u>検出アクション</u>
- メールフィルタリング



4.4. MS Exchange 向けメール スキャナ (VSAPI)

この項目には E-mail Scanner for MS Exchange (VSAPI)の設定が含まれます。

🏭 AVG サーバーコンボーネント設定		X
AVG サーバーコンボーネント 日 『 サーバーコンボーネント 日 『 サーバーコンボーネント 日 『 サーバーコンボーネント 日 『 サーバーコンボーネント 日 『 サーバーコンボーネント 日 『 サーバーコンボーネント Anti-Spam Server for MS Exchange (日 『 メールスキャナ for MS Exchange (日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日		
 デフォルト 	 	t 💽

[基本設定] セクションには次のオプションがあります。

- **コンポーネントを有効にする**-チェックを外すとコンポーネント全体を無効にします。
- **肩語**-任意のコンポーネント言語を選択します。

[**ログ設定**] セクション:

• **ログ ファイル サイズ**-任意のログファイルサイズを選択します。既定値は 100 MB です。

[スキャン設定] セクション:

 バックグラウンドスキャン - ここでバックグラウンドスキャン処理を有効/無効にできます。バック グラウンドスキャンは VSAPI 2.0/2.5 アプリケーションインターフェース機能の1つです。 Exchange Messaging Databaseのスレッド化されたスキャンを提供します。最新のAVGウィルス ベース更新でスキャンされなかったアイテムがユーザーのメールボックスフォルダに入った場合は、 AVG for Exchange Server に送信されスキャンされます。検査されていないオブジェクトのスキャン と検索は並列で実行されます。

特定の低優先度スレッドは各データベースで使用されます。これにより、他のタスク (E-mail Scanner for MS Exchange データベースの電子 メール ストレージなど) が常に優先的に実行さ



れることが保証されます。

• *プロアクティブ スキャン (受信 メッセージ)*

ここで VSAPI 2.0/2.5 のプロアクティブ スキャン機能を有効/無効にできます。 アイテムがフォルダに配信 された後 クライアントによる要求 がない場合に、 このスキャンが実行 されます。

メッセージが Exchage ストアに送信 されるとすくに、低優先度 (最大 30 アイテム) でグローバル スキャンの待ち行列に入ります。先入れ先出し (FIFO) ベースでスキャンされます。待ち行列にあ るアイテムがアクセスされると 高優先度に変更されます。

メモ:オーバーフローしたメッセージはスキャンされない状態で保存されます。

メモ: [/「ックグラウンド スキャン] と[プロアクティブ スキャン] オプションを無効 にしても、ユーザーが MS Outlook クライアントでメッセージをダウンロードするときには、オンアクセス スキャナが有効 になっていま す。

- RTF のスキャン-ここで RTF ファイル タイプをスキャンするかどうかを指定 できます。
- 送信メッセージをスキャンしない(MS Exchange 2007/2010) VSAPI とレーティング転送エージェント(ルーティングTA)サーバーコンポーネントの両方がインストールされている(1台のサーバーを使用しているか、別々で2台のサーバーを使用しているかは関係ありません)と送信メールが2度スキャンされる場合があります。最初のスキャンはVSAPIオンアクセススキャナによって実行され、次のスキャンはルーティング転送エージェントによって実行されます。これにより、特定のサーバーの速度が低下し、電子メール送信である程度の遅延が発生する場合があります両方のサーバーコンポーネントがインストールされ、アクティブになっているかどうかがわからない場合は、このボックスをチェックし、VSAPIオンアクセススキャナーを無効にすることで、この二重の送信メールスキャンを回避できます。
- スキャンスレッド数 既定ではスキャン処理はスレッド化され、一定レベルの並列性によりスキャンパフォーマンス全体が向上します。ここでスレッド数を変更できます。

既定のスレッド数は「プロセッサ数」の2倍+1です。

スレッドの最小数は「プロセッサ数」+1を2で割った数です。

スレッドの最大数は「プロセッサ数」の5倍+1です。

値が最小値以下の場合または最大値以上の場合は、既定値が使用されます。

 スキャン タイムアウト-1 つのスレッドがスキャン中のメッセージにアクセスする最大継続間隔 (秒数)です(既定値は180秒)。

[**スキャン プロバティ**] セクション:

- **ビューリスティックを使用する**-スキャン時にヒューリスティック分析方式を有効にするにはこの チェックをオンにします。
- **不審なプログラムとスパイウェア脅威を報告する**-このオプションにチェックを付けると不審な プログラムとスパイウェアの存在を報告します。
- **不審なプログラムの拡張設定を報告する**-チェックを付けるとスパイウェアの拡張パッケージ を検出します。スパイウェアは、製造元から直接取得する場合には完全に問題がなく無害なプ ログラムですが、後から悪意のある目的で悪用されるおそれのあるプログラムです。また、常に無



害ですが、望ましくないプログラムもあります(各種ツールバーなど)。この機能はコンピュータセキュリティと快適性をさらに高めるための追加的な手段ですが、合法的なプログラムもブロックする可能性があるため、既定ではオフになっています。メモ:この検出機能は前のオプションの追加機能です。したがって、基本タイプのスパイウェアに対する保護を適用する場合には、必ず前のボックスにもチェックを付けた状態にしてください。

• アーカイブ内部 をスキャンする - アーカイブファイル内 (zip、rar など)もスキャンする場合はこの オプションのチェックをオンにします。

[**電子メール添付ファイルの報告**] セクションではスキャン中に報告する項目を選択できます。既定の設定は [検出アクション] セクションの [情報] 部で簡単に修正できます (次を参照)。

次のオプションが利用可能です。

- パスワード保護されたアーカイブを報告する
- パスワード保護されたドキュメントを報告する
- マクロを含むファイルを報告する
- 非表示の拡張子を報告する

ー 般 的 に、これらの機 能 の一 部 は Microsoft VSAPI 2.0/2.5 アプリケーション インターフェース サービス のユーザー拡張 です。 VSAPI 2.0/2.5 の詳 細 については、次 のリンクと参照 リンクからアクセスできるリン クを確 認 して ください。

- <u>http://support.microsoft.com/default.aspx?scid=kb;en-us;328841&Product=exch2k</u> Exchange とウィルス対策 ソフトウェア連携の情報
- <u>http://support.microsoft.com/default.aspx?scid=kb:en-us:823166</u> Exchange 2003 Server ア プリケーションでの追加 VSAPI 2.5 機能の情報

またツリー構造では次の下位項目も利用できます。

- <u>検出アクション</u>
- メールフィルタリング



4.5. 検出アクション

🌆 AVG 高度な設定		
 ▲ WG 高度な設定 ボ況 サウンド サウンド サウンド 中時的に AVG (保護を無効にする ウィルス対策 スキャン スキャン アップデート アップデート ア・トキット対策 マージャートキット対策 マージャートキット対策 ジートキット対策 ジートキット対策 ジールートキット対策 ジールトキット対策 ジールートキット対策 ジールートキット対策 ジールートキット対策 ジールートキット対策 ジールンボーネント サーバーコンボーネント サーバーンボーネント サーバーンボーネーシト サーバーンボーネーシト サーバーンボーネーシト サーバーンボーネーシト サーバーンボーネーシト サーバーンボーネーシト サーバーンボーネーシト サーバーンボーネーシト サーバーンボーネーシト サーバーンボーネート サーバーンボーンボーネート サーバーンボーンボーント サーバーンボーント サーバーンボーンド サーバーンボーンボーント サーバーンボーンド サーバンボーンボーント サーバンボ	 検出アクション(自動アクション) 感染 ウイルス隔離室へ移動 ビ 件名を…としてマーク [感染] PUP ウイルス隔離室へ移動 ビ 件名を…としてマーク [スパイウェア] 警告 ウイルス隔離室へ移動 ビ 件名を…としてマーク [警告] 情報 なし ビ 件名を…としてマーク 	
• • • •	[['请幸辰]	
デフォルト	🛞 ок	キャンセル 📀 適用

[検出 アクション] サブアイテムでは、スキャン処理中の自動アクションを選択できます。

このアクションは以下のアイテムで利用可能です。

- *感染*
- PUP (不審なプログラム)
- **警**告
- 情報

ロールダウンメニューを使い、各アイテムのアクションを選択します。

- なし-アクションは行われません。
- **ウイルス隔離室に移動**-既知の脅威はウイルス隔離室に移動します。
- *削除*-既知の脅威は削除されます。

既知のアイテムや脅威を含むメッセージの件名文を選択する場合は、[...を含む件名をマークする] ボックスのチェックをオンにし、希望の値を入力します。



注意:最後に説明されている機能は、MS Exchange VSAPI向け電子メールスキャナでは利用できません。

4.6. メール フィルタリング

🌆 AVG 高度な設定	
 状況 サウンド ー時的に AVG 保護を無効にする ウイルス対策 スキャン スキャン スケジュール アップデート ルートキット対策 デ 本本なフログラム ウイルス隔離室 製品改善フログラム サーバーコンボーネント エラー状態を無視 サーバーコンボーネント Anti-Spam Server for MS Exchange (メールスキャナ for MS Exchange (メールスキャナ for MS Exchange) メールスキャナ for MS Exchange) 	 ぶ付ファイルを削除(受信メールのみ) すべての実行可能ファイルを削除 すべての文書を削除 されらのカンマ区切りの拡張子を持つファイルを削除 除去された添付ファイルをウィルス隔離室に移動

[メールフィルタリング] サブアイテムでは、自動的に削除する添付ファイル(ある場合)を選択できます。次のオプションが利用可能です。

- 添付 ファイルを削除 このボックスをオンにして、機能を有効にします。
- **すべての実行可能ファイルを削除** すべての実行可能ファイルが削除されます。
- **すべてのドキュメントを削除** すべてのドキュメントファイルが削除 されます。
- **コンマで区切られた拡張子でファイルを削除**-自動的に削除するボックスをファイル拡張子で埋めます。拡張子をコンマで区切ります。
- 除外された添付ファイルをウィルス隔離室に移動する-除外された添付ファイルを完全に削除しない場合にはチェックを付けます。このボックスを選択するとダイアログで選択されたすべての添付ファイルが自動的にウィルス隔離室環境に移動されます。ウィルス隔離室は潜在的に悪意のあるファイルを保存するための安全な場所です。システムに危害を及ぼさずにファイルの確認と調査ができます。ウィルス隔離室はAVG Email Server Edition 2012 メインインターフェースの上部のメニューからアクセスできます。[履歴]項目をクリックするだけで、ドロップダウメニュー



から[**ウィルス隔離室**]項目を選択できます。



5. MS Exchange Server 2003 向けメールスキャナ

5.1. 概要

E-mail Scanner for MS Exchange Server 2003構成オプションは、完全にサーバーコンポーネントとして AVG Email Server Edition 2012 と統合されています。

AVG Email Server Edition 2012					
ファイル(E) コンポーネント(<u>C</u>) 履	履歴(<u>S) ツール(T) へ</u>	ルプ(日)			サポ−ト(<u>P)</u>
AVG. Email Server Edition	完全には、 概要をクリックで アゥファート:	保護されていません。 するとコンポーネント状態が表示。 データベースアップデートは無効	されます。 とされています		
概要		□		e	
サーバーコンポーネント	、 スパム対策 有効	EMS (ルーティング) 有効	EMS (SMTP) 有効	EMS (VSAPI) 有効	
今すぐスキャン 最終スキャン日時: 2/19/12, 10:15 PM					
スキャン オプション					
すぐにアップデート 最終更新日時: 2/19/12, 10:12 PM					
	スパム対策 Anti-Spam Server for M Anti-Spam Server for M	S Exchange は SPAM メッセー S Exchangeコンボーネントは有	-ジを除外し、フィッシング詐其 効です。	なから保護します。	
通知を表示					

サーバー コンポーネントには次 が含まれます。

各サーバー コンポーネントの基本概要

• <u>スパム対策 - MS Exchange 向 けスパム対策 サーバー</u>

すべての受信電子メールをチェックし、望ましくないメールをSPAMと見なします。複数の分析 手法を使用して各メールを処理し、望ましくない電子メールメッセージに対する最大限の保護 を提供します。

• <u>EMS (VSAPI) - MS Exchange 向け電子メールスキャナ (VSAPI)</u>

ユーザーのメールボックスに保存されているすべての電子メールメッセージをチェックします。 ウィル スが検出されると、 ウイルス隔離室に移動されるか、 完全に削除されます。

必要なコンポーネントアイコンをクリックすると、インターフェースが開きます。 スパム対策 コンポーネントの独自の画面については、個別の章を参照してください。 E-mail Scanner for MS Exchange



(VSAPI) インターフェースには次のコントロールボタンとリンクがあります。

AVG Email Server Edition 2012		
ファイル(E) コンポーネント(<u>C</u>) 履	見歴(<u>S</u>) ツール(<u>T</u>) ヘルプ(<u>H</u>)	サポ−ト(<u>P</u>)
AVG. Email Server Edition	完全には保護されていません。 概要をクリックするとコンボーネント状態が表示されます。 アップデート:データベースアップデートは無効化されています	
標要	メールスキャナ for MS Exchange (VSAPI) コンポーネント	
サーバーコンポーネント	メールスキャナ for MS Exchange (VSAPI) □ は、ユーザーのメールボックスに格納されるすべての電子メールメッセージをチェックします。ウィルスが検出されると、ウイルス隔離室 ○ 」に移動されるか、完全に削除されます。	
メールスキャナ for MS Exchange (VSAPI)		
今すぐスキャン 最終スキャン日時: 2/19/12, 10:15 PM		
スキャン オプション	前回処理日時: 2/19/2012, 10:10 PM チェックされたメールの一部: 1604	
すぐにアップデート 最終更新日時: 2/19/12, 10:12 PM	検出された脅威: 0 検出された感染: 0 検出された PUP: 0 検出された警告: 0 検出された情報: 0	
	ウイルス隔離室へ移動: 0 削除: 0 無視: 0	
	<u>スキャン結果, 統計値の更新, 統計値をリセット</u>	
通知を表示	ity定	<u>₹</u> る

スキャン結果

スキャン結果を確認するための新しいダイアログが開きます。



 AVG スキャ 最新をま 選択項目 From To 	•2結果 示 目を表示		2	. 2 .2012	日以上通信してい <u>・</u> ・ ・	0 20:52:19 20:52:19	5 7 7
○ すべて表 すべて	示	2 <i>ℝ</i> √白τ⊽	蛇生	信奉品		更新	
771112		·時刻」			脅威名		
						同	55

このダイアログでは、メッセージが重要度に応じて複数のタブに分かれて表示されます。重要度の変更方法とレポート方法については、各コンポーネントの設定を参照してください。

既定では過去2日間の結果のみが表示されます。次のオプションを変更することで、表示期間を変更できます。

- 。 次の過去の期間内の結果を表示 任意の日数と時間数を入力します。
- 選択した期間の結果を表示 カスタム日時間隔を選択します。
- o **すべて表示** 期間全体の結果を表示します。

[更新] ボタンをクリックすると 結果 がロードされます。

- 統計値の更新 上記で表示される統計値が更新されます。
- 統計値のリセット すべての統計値をゼロにリセットします。

次の操作ボタンを利用できます。

- 設定 このボタンをクリックするとコンポーネントの設定が開きます。
- *戻る*-このボタンをクリックすると サーバー コンポーネント概要

各コンポーネント固有の設定の詳細については、次の章を参照してください。



5.2. MS Exchange 向けメール スキャナ (VSAPI)

この項目には E-mail Scanner for MS Exchange (VSAPI)の設定が含まれます。

🏭 AVG サーバーコンボーネント設定		X
AVG サーバーコンボーネント 日 『 サーバーコンボーネント 日 『 サーバーコンボーネント 日 『 サーバーコンボーネント 日 『 サーバーコンボーネント 日 『 サーバーコンボーネント 日 『 サーバーコンボーネント Anti-Spam Server for MS Exchange (日 『 メールスキャナ for MS Exchange (日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日		
 デフォルト 	 	t 💽

[基本設定] セクションには次のオプションがあります。

- **コンポーネントを有効にする**-チェックを外すとコンポーネント全体を無効にします。
- **肩語**-任意のコンポーネント言語を選択します。

[**ログ設定**] セクション:

• **ログ ファイル サイズ**-任意のログファイルサイズを選択します。既定値は 100 MB です。

[スキャン設定] セクション:

 バックグラウンドスキャン - ここでバックグラウンドスキャン処理を有効/無効にできます。バックグ ラウンドスキャンは VSAPI 2.0/2.5 アプリケーション インターフェース機能の1 つです。Exchange Messaging Database のスレッド化 されたスキャンを提供します。最新の AVG ウィルス ベース更 新でスキャンされなかったアイテムがユーザーのメールボックス フォルダに入った場合は、AVG for Exchange Server に送信されスキャンされます。検査されていないオブジェクトのスキャンと検索は 並列で実行されます。

特定の低優先度スレッドは各データベースで使用されます。これにより、他のタスク (E-mail Scanner for MS Exchange データベースの電子 メール ストレージなど) が常に優先的に実行さ



れることが保証されます。

• *プロアクティブ スキャン (受信 メッセージ)*

ここで VSAPI 2.0/2.5 のプロアクティブ スキャン機能を有効/無効にできます。 アイテムがフォルダに配信 された後 クライアントによる要求 がない場合に、 このスキャンが実行 されます。

メッセージが Exchage ストアに送信 されるとすくに、低優先度 (最大 30 アイテム) でグローバル スキャンの待ち行列に入ります。先入れ先出し (FIFO) ベースでスキャンされます。待ち行列にあ るアイテムがアクセスされると 高優先度に変更されます。

メモ:オーバーフローしたメッセージはスキャンされない状態で保存されます。

メモ: [/「ックグラウンド スキャン] と[プロアクティブ スキャン] オプションを無効 にしても、ユーザーが MS Outlook クライアントでメッセージをダウンロードするときには、オンアクセス スキャナが有効 になっていま す。

- RTF のスキャン-ここで RTF ファイル タイプをスキャンするかどうかを指定 できます。
- スキャンスレッド数 既定ではスキャン処理はスレッド化され、一定レベルの並列性によりスキャンパフォーマンス全体が向上します。ここでスレッド数を変更できます。

既定のスレッド数は「プロセッサ数」の2倍+1です。

スレッドの最小数は「プロセッサ数」+1を2で割った数です。

スレッドの最大数は「プロセッサ数」の5倍+1です。

値が最小値以下の場合または最大値以上の場合は、既定値が使用されます。

 スキャンタイムアウト-1 つのスレッドがスキャン中のメッセージにアクセスする最大継続間隔 (秒数)です(既定値は180秒)。

[**スキャン プロバティ**] セクション:

- **ビューリスティックを使用する**-スキャン時にヒューリスティック分析方式を有効にするにはこの チェックをオンにします。
- **不審なプログラムとスパイウェア脅威を報告する**-このオプションにチェックを付けると不審な プログラムとスパイウェアの存在を報告します。
- 不審なプログラムの拡張設定を報告する-チェックを付けるとスパイウェアの拡張パッケージを検出します。スパイウェアは、製造元から直接取得する場合には完全に問題がなく無害なプログラムですが、後から悪意のある目的で悪用されるおそれのあるプログラムです。また、常に無害ですが、望ましくないプログラムもあります(各種ツールバーなど)。この機能はコンピュータセキュリティと快適性をさらに高めるための追加的な手段ですが、合法的なプログラムもブロックする可能性があるため、既定ではオフになっています。メモ:この検出機能は前のオプションの追加機能です。したがって、基本タイプのスパイウェアに対する保護を適用する場合には、必ず前のボックスにもチェックを付けた状態にしてください。
- アーカイブ内部 をスキャンする アーカイブファイル内 (zip、rar など)もスキャンする場合はこの オプションのチェックをオンにします。



[**電子メール添付ファイルの報告**] セクションではスキャン中に報告する項目を選択できます。既定の設定は [検出アクション] セクションの [**情報**] 部で簡単に修正できます (次を参照)。

次のオプションが利用可能です。

- パスワード保護されたアーカイブを報告する
- パスワード保護されたドキュメントを報告する
- マクロを含むファイルを報告する
- *非表示の拡張子を報告する*

ー 般 的 に、これらの機能 はすべて Microsoft VSAPI 2.0/2.5 アプリケーション インターフェース サービスの ユーザー拡張 です。 VSAPI 2.0/2.5 の詳細 については、次 のリンクと参照 リンクからアクセスできるリンクを 確認 してください。

- <u>http://support.microsoft.com/default.aspx?scid=kb:en-us:328841&Product=exch2k</u> Exchange とウィルス対策 ソフトウェア連携の情報
- <u>http://support.microsoft.com/default.aspx?scid=kb:en-us;823166</u> Exchange 2003 Server ア プリケーションでの追加 VSAPI 2.5 機能の情報

またツリー構造では次の下位項目も利用できます。

- <u>検出アクション</u>
- メールフィルタリング



5.3. 検出アクション

🌆 AVG 高度な設定			
 ▲ VG 高度な設定 ボ況 サウンド サウンド サウンド サウンド サー時句に AVG (保護を無効にする ウィルス対策 スキャン スキャン アップデート アップデート アップデート アップデート アップジール アップジール アップジート アップジート アップジート アップジート アップジート アップジート アップジート デートトキャット対策 デートパーコンボーネント エラー状態を無視 サーバーコンボーネント エラー状態を無視 サーバーコンボーネント エラー状態を無視 デールスキャナ for MS Exchange (サールスキャナ for MS Exchange (サールスキャナ for MS Exchange (リモート管理 	 検出アクション(自動アクション) 感染 ウイルス隔離室へ移動 ビ 件名を…としてマーク [感染] PUP ウイルス隔離室へ移動 ビ 件名を…としてマーク [スパイウェア] 警告 ウイルス隔離室へ移動 ビ 件名を…としてマーク [割告] 情報 なし ビ 件名を…としてマーク 		
• • •	[['倚幸阪]		
デフォルト	🛞 ОК	++>ZUL (通用

[検出 アクション] サブアイテムでは、スキャン処理中の自動アクションを選択できます。

このアクションは以下のアイテムで利用可能です。

- *感染*
- PUP (不審なプログラム)
- **警**告
- 情報

ロールダウンメニューを使い、各アイテムのアクションを選択します。

- **なし**-アクションは行われません。
- **ウイルス隔離室に移動**-既知の脅威はウイルス隔離室に移動します。
- **削除**-既知の脅威は削除されます。



5.4. メール フィルタリング

🛃 AVG 高度な設定	
 「状況 「サウンド 「サウンド 「サウンド 「サウンド 「サウンド 「サウンド 「サウンド 「ウルス対策 スキャン スキャン スキャン 「アップデート 「レートキット対策 「デーホント 「シールス隔離室 「製品改善プログラム 「ワールス隔離室 「製品改善プログラム 「ワールス隔離室 「製品改善プログラム 「ジールス隔離室 「シーバーコンボーネント 「シーバーコンボーネント 「シーバーコンボーネント 「シールスキャナ for MS Exchange) 「リモート管理 	ぶ付ファイルを削除(受信メールのみ) 「すべての実行可能ファイルを削除 」すべての文書を削除 これらのカンマ区切りの拡張子を持つファイルを削除 「除去された添付ファイルをウィルス隔離室に移動
	V OK キャンセル 通用

[メールフィルタリング] サブアイテムでは、自動的に削除する添付ファイル(ある場合)を選択できます。次のオプションが利用可能です。

- 添付 ファイルを削除 このボックスをオンにして、機能を有効にします。
- **すべての実行可能ファイルを削除** すべての実行可能ファイルが削除されます。
- **すべてのドキュメントを削除** すべてのドキュメントファイルが削除 されます。
- **コンマで区切られた拡張子でファイルを削除**-自動的に削除するボックスをファイル拡張子で埋めます。拡張子をコンマで区切ります。
- 除外された添付ファイルをウィルス隔離室に移動する-除外された添付ファイルを完全に削除しない場合にはチェックを付けます。このボックスを選択するとダイアログで選択されたすべての添付ファイルが自動的にウィルス隔離室環境に移動されます。ウィルス隔離室は潜在的に悪意のあるファイルを保存するための安全な場所です。システムに危害を及ぼさずにファイルにアクセスできます。ウィルス隔離室はAVG Email Server Edition 2012 メインインターフェースの上部のメニューからアクセスできます。[履歴]項目をクリックするだけで、ドロップダウメニューから[ウィルス隔離室]項目を選択できます。



6. AVG for Kerio MailServer

6.1. 構成

ウィルス対策保護メカニズムは Kerio MailServer アプリケーションと直接統合されています。AVG スキャンエンジンで Kerio MailServer の電子メール保護を有効化するには、Kerio Administration Console アプリケーションを起動します。 アプリケーションウィンドウの左側のコントロールツリーで、[Configuration] ブランチの [Content Filter] サプブランチを選択します。

Hocalhost - Administration Console fo	or Kerio MailServer	<u> </u>
🐔 Kerio MailServer		
🕂 🤤 Configuration	Content Filter	
🎰 Services		
🥰 Domains		
🐻 SMTP Server		
🕂 🔁 Content Filter	Com Fillow Attachment	
🛃 Spam Filter	Filter	
🔁 Antivirus		
🚰 Attachment Filter		
🔚 Archiving & Backup		
🝋 Internet Connection		
🔂 Scheduling		
큻 POP3 Download		
큻 ETRN Download		
🚵 Remote Administration		
🔄 SSL Certificates		
🎻 Advanced Options		
± 💷 Definitions		
🗄 🞯 Domain Settings		
🕀 🔛 Status		
🗄 🔂 Logs		
Configuration	📔 🖁 Kerio MailServer / Configuration / Content Filter 📃 📃 localhost: 44337 🗍 🤱 Admin 🗍 🔁 Ready	· //.

[Content Filter] 項目をクリックすると3つの項目が含まれるダイアログが表示されます。

- Spam Filter
- <u>Antivirus</u>(**ウィルス対策**の項を参照)
- <u>Attachment Filter</u> (添付ファイルフィルタの項を参照)

6.1.1. ウィルス対策

AVG for Kerio MailServer を有効化するには、[外部ウィルス対策を使用] チェックボックスを選択し、コンフィグレーションウィンドウの [ウィルス対策使用] フレームの [外部 ソフトウェア] メニューから [AVG Email Server Edition] 項目を選択します。



次のセクションでは、感染したメッセージまたはフィルタリングされたメッセージの処理方法を指定できます。

メッセージでウィルスが検出された場合

If a virus is found in a message	
O Discard the message	
\bigcirc Deliver the message with the malicious code removed	
$\hfill \hfill $	
$\hfill \hfill $	

このフレームでは、メッセージでウィルスが検出された場合や、添付ファイルフィルタでメッセージが除外された場合に実行するアクションを指定します。

- メッセージを廃棄 選択すると感染またはフィルタリングされたメッセージは削除されます。
- *悪意のあるコードを除去してメッセージを配信* 選択するとメッセージは受信者に配信されますが、有害な可能性のある添付ファイルは除去されます。
- 元のメッセージを管理者のアドレスに転送 選択すると ウィルスに感染したメッセージは、[アドレス] テキストフィールドで指定したアドレスに転送されます。
- フィルタリングされたメッセージを管理者のアドレスに転送 選択すると、フィルタリング されたメッセージは、[アドレス] テキストフィールドで指定したアドレスに転送されます。
- メッセージの一部をスキャンできない場合 (暗号化ファイルや破損したファイルなど)

-If a part of message cannot be scanned (e.g. encrypted or corrupted file)

Deliver the original message with a prepended warning

C Reject the message as if it was a virus (use the settings above)

このフレームでは、メッセージや添付ファイルの一部をスキャンできない場合のアクションを指定します。

元のメッセージを警告とともに配信 - メッセージまたは添付 ファイルはチェックせずに配信されます。ユーザーはウィルスが含まれている可能性があるというメッセージ警告を受信します。



ウィルスの場合と同様にメッセージを拒否 - システムはウィルスが検出された場合と同じ処理を実行します。つまり、メッセージは添付ファイルを削除してから配信されるか、拒否されます。このオプションは安全ですが、パスワード保護したアーカイブの送信は事実上不可能です。

6.1.2. 添付ファイル フィルタ

[添付ファイルフィルタ] メニューには、さまざまな添付ファイル定義のリストがあります。

Ç	칠 Attack	nment l	Filter		
F	Enable attachme	nt filter			
ſ	-If a message attac	hment is block:	ed by this filt	er	1
	The attachment w	ill be removed f	from the mes	ssage and the message will be delivered to the recipient	
	🔽 Send the send	ler a warning in	forming that	the attachment was not delivered	
	E Forward the o	riginal message	to administr	ator address	
		nginarmessage			
	Forward the fi	ltered message	to administr	ator address:	
					1
	Туре	Content	Action	Description	
	🗆 월 File name	*.exe	Block	EXE files	
	🗹 🗯 File name	*.com	Block	COM files	T
	🗹 燧 File name	*.scr	Block	Screenshot files	
	🗹 🗯 File name	*.bat	Block	BAT files 💌	
	•				
[<u>A</u> dd	<u>E</u> dit,,,	<u>R</u> emove	e	

[添付ファイルフィルタを有効にする] チェックボックスを選択すると電子メール添付ファイルのフィルタリングの有効化/無効化を切り替えられます。任意で、次の設定を変更できます。

• 添付ファイルが配信されなかったという警告を送信者に送信

送信者は、Kerio MailServerから、ウィルスまたはブロックされた添付ファイルを含むメッセージを送信したことを示す警告を受信します。

• 元のメッセージを管理者のアドレスに転送

メッセージは、ローカルアドレスまたは外部アドレスに関係なく、定義した電子メールアドレスに転送されます (であるため、感染や禁止された添付ファイルが含まれます)。

• フィルタリングされたメッセージを管理者のアドレスに転送

感染や禁止された添付ファイルが含まれないメッセージが指定された電子メールアドレスに転送 されます (次に選択したアクションは除く)。これは、ウィルス対策または添付ファイルフィルタ、ある いはその両方が正しく機能していることを検証するために使用できます。



拡張子のリストでは、各アイテムに4つのフィールドがあります。

- **種類** [コンテンツ] フィールドで指定 された拡張子で判断 される添付 ファイルの種類を指定。選択 できる種類は、ファイル名 または MIME タイプです。このフィールドの該当するボックスを選択すると、添付 ファイルフィルタにアイテムを追加/除外 できます。
- コンテンツ-ここでフィルタリングする拡張子を指定できます。ここでは、オペレーティングシステムのワイルドカードを使用できます(例えば、文字列*.doc.*'は、.doc 拡張子のすべてのファイルとそれに続くすべての拡張子を示します)。
- アクション-特定の添付ファイルに対して実行するアクションを定義します。許可(添付ファイルを許可)、プロック(先に無効な添付ファイルのリストとして定義されたとおりに処理されます)のいずれかのアクションを実行できます。
- *説明* このフィールドでは添付ファイルの説明を定義します。

[削除] ボタンをクリックすると リストからアイテムが削除 されます。[*追加…*] ボタンをクリックすると リスト に別のアイテムを追加できます。あるいは、[*編集…*] ボタンをクリックすると 既存のレコードを編集でき ます。次のウィンドウが表示されます。

📣 Attachment Filter 📃 🔁	<
Description: BAT files	
If an email message contains an attachment where	
File name 💌 is 🔭.bat	
Then	
Block the attachment	
C Accept the attachment	
OK Cancel	

- [説明] フィールドには、フィルタリングする添付ファイルの概要説明を入力できます。
- [電子 メールメッセージに添付 ファイルが含まれる場合]フィールドでは、添付 ファイルの種類 (ファ イル名または MIME タイプ)を選択できます。表示される拡張子リストから特定の拡張子も選 択できます。あるいは、拡張子 ワイルドカードを直接入力できます。

[次の処理] フィールドでは、定義された添付ファイルを許可するか、ブロックするかを決定できます。



7. スパム対策設定

7.1. スパム対策インターフェース

AVG Email Server Edition 2012		
ファイル(E) コンポーネント(<u>C</u>) 履	<u>昇歴(S) ツール(工) ヘルプ(H) t</u>	ナポート(<u>P</u>)
AVG. Email Server Edition	完全には保護されていません。 概要をクリックするとコンボーネント状態が表示されます。 アップデート:データベースアップデートは無効化されています	
標要	Anti-Spam Server for MS Exchange Component	
サーバーコンポーネント	Anti-Spam Server for MS Exchange はすべての送受信メッセージをチェックして、不審なメールを SPAM としてマークします。 最大の保護を提供するために複数の分析方法を使用します。	
Anti-Spam Server for MS Exchange		
今すぐスキャン 最終スキャン日時: 2/19/12, 10:15 PM		
スキャン オプション	コンパーネント ハーンヨン: 0.4.0 最終データベース アップデート: Friday, July 01, 2011, 1:00 AM チェックだれた電子メール メッセージ: 0 以降 2/19/2012, 10:10 PM	
すぐにアップデート 最終更新日時: 2/19/12, 10:12 PM	検出されたスパム メッセージ: 0 以降 2/19/2012, 10:10 PM 検出されたフィッシング電子メール: 0 以降 2/19/2012, 10:10 PM	
	<u>スキャン結果</u> , 統計値の更新, 統計値を切セット	
	マスパム対策を有効にする	
通知を表示	設定 変更を保存 キャン1	216

[サーバーコンポーネント] セクション (左側のメニュー) に、スパム対策 **サーバー**コンポーネントのダイアロ グが表示 されます。ここには、サーバーコンポーネントの機能に関する概要情報、現在のステータスに 関する情報 (*MS Exchange 向けスパム対策 サーバーコンポーネントはアクティブです*)、および一部の統 計情報が表示 されます。

利用可能なリンク:

スキャン結果

スパム対策スキャン結果を確認するための新しいダイアログが開きます。



🌆 AVG スキャン結果							×
 ● 最新を表示 		2	E	日以上通信して	()	0 時	38
〇 選択項目を表示							
From		21	. 2 .2012		-	20:52:19	* *
То		22	. 2 .2012		-	20:52:19	<u>*</u>
○ すべて表示					_		
						更新	
		46 hr 11	14.40				
- すべ(感染 - ファイルタ	スパイワエア 時刻	#F	「青辛饭		2		
	• 18.1			Hazz	_		
						開	53

ここでは、SPAM (望ましくないメッセージ) またはフィッシングの試み (個人情報データ、銀行詳細情報、ID などを盗む試み) のいずれかとして検出されたメッセージを確認 できます。既定では、過去2日間の結果のみが表示されます。次のオプションを変更することで、表示期間を変更できます。

- 。 次の過去の期間内の結果を表示 任意の日数と時間数を入力します。
- 。 選択した期間の結果を表示 カスタム日時間隔を選択します。
- o **すべて表示** 期間全体の結果を表示します。

[更新] ボタンをクリックすると 結果 がロードされます。

- 統計値の更新 上記で表示される統計値が更新されます。
- 統計値のリセット すべての統計値をゼロにリセットします。

ダイアログの [スパム設定] セクションには、[スパム対策を有効にする] チェックボックスのみがあります。チェックを外すとスパム対策保護を無効にします (コンポーネント全体を無効にします)。 このチェックボックスを使用するか、同様の [スパム対策設定] のチェックボックスを選択するとスパム対策保護を再度有効にできます。



以下のような操作ボタンがあります。

- **設定** このボタンを使用すると [スパム対策設定]を開きます。
- **戻る** このボタンをクリックすると サーバーコンポーネント概要

7.2. スパム対策の原理

スパムとは望まない電子メールのことです。一般的に、製品やサービスの広告メールが大量のメールアドレスに一度に送信され、受信者のメールボックスを占拠します。消費者が同意をした合法的な商業メールはスパムではありません。スパムは単に迷惑なだけではなく、しばしば詐欺、ウイルス、不快な内容を含んでいます。

スパム対策はすべての受信メールをチェックし、望ましくない電子メールをSPAMと特定します。複数の分析手法を使用して各メールを処理し、望ましくない電子メールメッセージに対する最大限の保護を提供します。

7.3. スパム対策設定

[スパム対策基本設定] ダイアログの [スパム対策保護をオンにする] チェック ボックスを使用して、 電子メール通信のスパム対策スキャンを許可/禁止できます。

このダイアログでは、スコアの判定レベルを選択することができます。[スパム対策]フィルタは、複数の動



的スキャン技術に基づいて、各メッセージにスコアを割り当てます(メッセージの内容とSPAMメッセージ との類似性など)。値(50~90)を入力するか、スライダを左右に動かして、[スコアが次の値以上の 場合はメッセージをスパムと見なす]設定を調整できます。

次に、スコアのしきい値の概要を示します。

- **値 90**-大部分の受信電子メールメッセージは通常通りに配信されます (スパム) せん)。最も容易に特定できるスパムは除外れますが、かなりの数のスパムが許可される可能性 があります。
- **値 80 ~ 89** <u>スパム</u>の可能性が高い電子メールメッセージは除外されます。一部の正常なメッセージも誤って除外される可能性があります。
- **値 60 ~ 79**-かなり積極的な設定です。スパムの可能性があるメールは除外されます。正常なメッセージも除外される可能性があります。
- **値 50 ~ 59**-非常に積極的な設定です。正常なメールが本物のスパムメッセージと同様に除外される可能性が高くなります。通常、この値は推奨されません。

さらに、検出したスパム電子メールメッセージを処理する方法を定義できます。

- **スパムとして判定されたメッセージの件名を修正する**-<u>スパム</u>として検出されたメッセージの 件名にを特定の単語や文字を追加する場合は、このチェックボックスを選択し、追加する任意 のテキストをテキストフィールドに入力します。
- **誤検出を報告する前に確認する**-インストール処理中に製品改善プログラムへの参加に同意し、AVGへ検出された脅威の報告を許可した場合に指定できます。この製品改善プログラムは、最新の脅威に関する情報を全世界の参加者から収集することで、全ユーザーのために製品の保護機能を改善します。報告は自動的に実行されます。ただし、このチェックボックスを選択すると、ダイアログボックスを表示し、メッセージがスパムメールであるかどうかを確認してから、検出されたスパムをAVGに送信できます。

[*スパム対策の学習*] ボタンをクリックすると <u>スパム対策学習 ウィザード</u>を開きます。詳細について は、<u>次の章</u>を参照してください。



7.3.1. スパム対策学習ウィザード

*スパム対策学習ウィザード*の最初のダイアログでは、学習のためのメールソースを選択します。通常は、間違って SPAM としてマークされたメールや、認識されなかったスパムメッセージを使用します。

鱰 AVG スパム対策学習ウィザード	
Q スパム対策学習ウィザード	
学習セットのソースを選択して下さい。	
◎ EMLファイルのあるフォルダ	
💿 Microsoft Office Outlook	
 Microsoft Outlook Express 	
○ The Bat!	
🔵 Mozilla Thunderbird	
	(次へ) キャンセル

以下のオプションがあります。

- 特定のメールクライアント リストされたメールクライアントの1つ (MS Outlook, Outlook Express, The Bat!, Mozilla Thunderbird)を使用する場合、該当するオプションを選択します。
- EMLファイルのあるフォルダ-他のメールプログラムを利用する場合、まずメッセージを特定の フォルダに保存(.em/形式)、またはメールクライアントメッセージフォルダの場所を確認します。次に、EMLファイルのあるフォルダを選択します。次のステップで希望するフォルダを指定します。

学習 プロセスをよい速 <簡単にするために、学習に使用するフォルダーには学習用メッセージ(望ましい もの、望ましくないもの)のみを含むよう、予め整理しておくことをお勧めします。ただし、このウィザードで は、後のステップでメールをフィルタできるため、これは必ずしも必要ではありません。

適切なオプションを選択し、次へをクリックしてウィザードを継続します。

7.3.2. メッセージのあるフォルダを選択

このステップで表示されるダイアログはこれまでの選択内容によって異なります。

EML ファイルのあるフォルダ



🔩 AVG スパム対策学習ウィザード	
◎ スパム対策学習ウィザード	
フォルダには以下が含まれます。	
望ましくないメール(SPAM)	▼
学習用フォルダを選択して下さい。	
Deleted Items Drafts Inbox Junk E-mail Outbox Sent Items	
0	

このダイアログでは学習に使用するメッセージフォルダを選択します。[フォルダの追加]ボタンをクリックして、.emlファイル(保存された電子メールメッセージ)のあるフォルダを参照します。選択したフォルダがダイアログに表示されます。

フォルダには次の内容が含まれます。ドロップダウンメニューには2つのオプションが表示されます。ここでは選択したフォルダが望ましい(HAM)メールあるいは望ましくない(SPAM)メールのいずれを含むかを選択します。次のステップでメッセージをフィルタリングできます。フォルダには学習メールのみを含む必要はありません。また、[フォルダの削除]ボタンをクリックして、選択した望ましくないフォルダを一覧から削除できます。

完了したら、[次へ]をクリックして、[メッセージ フィルタリング オプション]に進みます。

特定の電子 メール クライアント

オプションのいずれかを確認した場合、新しいダイアログが表示されます。

🕌 AVG スパム対策学習ウィザード		
♀ スパム対策学習ウィザード		
フォルダには以下が含まれます。		
「望ましくないメール(SPAM)	Ψ.	
学習用フォルダを選択して下さい。		
		フォルダを追加
		フォルダを削り除
0	戻る 次へ	キャンセル



メモ: Microsoft Office Outlook の場合、最初に Microsoft Office Outlook プロファイルを選択 するよう に指示 されます。

フォルダには次の内容が含まれます。ドロップダウンメニューには2つのオプションが表示されます。ここでは選択したフォルダが望ましい(HAM)メールあるいは望ましくない(SPAM)メールのいずれを含むかを選択します。次のステップでメッセージをフィルタリングできます。フォルダには学習メールのみを含む必要はありません。選択した電子メールクライアントのナビゲーションツリーがダイアログのメインセクションに表示されます。ツリー上で任意のフォルダを選択して強調表示させます。

完了したら、[次へ]をクリックして、[メッセージフィルタリングオプション]に進みます。

7.3.3. メッセージ フィルタリング オプション

👫 AVG スパム対策学習ウィザード	
◎ スパム対策学習ウィザート	
メッセージフィルタリングタイプを選択してつ	- そい。
◎ すべてのメッセージ(フィルタリングなし)	
◎ フィルタを使用	
件名に以下を含む:	
送信者には以下を含む:	
◎ 各メッセージの問い合わせ	
\bigcirc	戻る (次へ) キャンセル

このダイアログでは、メールメッセージのフィルタリングを設定します。

- すべてのメッセージ(フィルタなし)-選択したフォルダに学習で使用するメッセージしか含まれていないことが確実な場合は、[すべてのメッセージ(フィルタなし)]オプションを選択します。
- フィルタを使用 高度なフィルタを使用する場合、[フィルタを使用] オプションを選択しま す。メールの件名、送信者欄で検索する場合、単語(名前)、単語の一部、フレーズを入 力します。入力した条件に正確に一致するメッセージすべてが学習に使用されます。プロンプ トは表示されません。両方のテキストフィールドに入力すると2つの条件のうちのいずれかに マッチするアドレスが使用されます。
- 各メッセージを確認 フォルダに含まれるメッセージが不明で、すべてのメッセージについて確認 (学習するかどうかを決定できるように)する場合、[各メッセージを確認]オプションを選択します。

適切なオプションを選択し、[**次へ**]をクリックします。以後のダイアログは情報のみが表示され、ウィザードがメッセージを処理する準備ができていることを示します。学習を開始するには次へボタンを再度クリックします。学習は、選択された条件に応じて開始されます。



7.4. パフォーマンス



[エンジン パフォーマンス設 定] ダイアログ (左側のナビゲーションの [パフォーマンス] からリンク では、 スパム対策コンポーネントのパフォーマンスを設定できます。 スライダを左右 に動 かして、低メモリ消費 モードと高パフォーマンス モードの間 でスキャン パフォーマン レベルを変更 します。

- 低メモリ消費 スキャン処理でスパムを判定するときに、ルールは使用されません。学習データの みが判定に使用されます。コンピュータハードウェア性能が著しく低い場合などをのぞき、このモード は一般の利用には推奨されません。
- **高パフォーマンス**-このモードでは大量のメモリを消費します。スパムスキャン中には、ルールとスパムデータベースキャッシュ、基本ルール、高度なルール、スパム送信者 IP アドレス、スパム送信者データベース機能が使用されます。

[オンライン チェックを有効 にする] は既定でオンとなっています。 これにより、 <u>Mailshell</u> サーバーとの通信によってスキャン データが <u>Mailshell</u> データベースとオンラインで比較 されるため、より正確な<u>スパム</u>検出が実行 されます。

通常、やむを得ない理由がある場合を除き、既定の設定を保持することをお勧めします。この 設定の変更は上級者ユーザーのみが行ってください。



7.5. RBL

[RBL] 項目をクリックすると、リアルタイム ブラックホール リストと呼ばれる編集ダイアログが開きます。



このダイアログでは、[RBL サーバーに問い合わせる]機能をオン/オフにすることができます。

RBL (*リアルタイム ブラックホール リスト*) サーバーは、既知のスパム送信者の拡張データベースを含む DNS サーバーです。この機能がオンの場合、すべてのメールが RBL サーバー データベースと照合され、 このデータベース エントリと一致する場合には、スパムとして判定されます。

RBL サーバー データベースには最新スパム フィンガープリントが含まれ、最高レベルの最も正確なスパ <u>ム</u>検出を実現します。この機能は、特に通常のスパム対策エンジンでは検出されないような大量のス パムを受信するユーザーに適しています。

[*RBL サーバー リスト*] では、特定の RBL サーバーの場所を定義できます。既定では 2 つの RBL サ ーバー アドレスが指定 されています。特にこの設定を変更する理由のない一般ユーザーの場合は、既 定の設定を保持することをお勧めします。

メモ: この機能を有効にすると 各メッセージが RBL サーバー データベースと照合 されるため、システム 性能と設定によってはメール受信処理の速度が低下する場合があります。

いかなる個人 データもサーバーには送信 されません。



7.6. ホワイトリスト

[**ホワイトリスト**] をクリックすると スパム送信者 として判定 されない承認済みの送信者 メール アドレス とドメイン名のグローバル リストが表示 されるダイアログが開きます。

🏭 AYG 高度な設定	
AVG 高度な設定 ボ況 ・ ・ ・ ・ ・ ・	キョマされたメール送信者リスト キョマされたメール送信者リスト キョマされたメール送信者リスト ・
デフォルト	 OK キャンセル

編集インターフェースでは、望ましくないメッセージ (スパム) を送信しない送信者のリストを編集できます。また、スパム メッセージが生成 されないことがわかっているドメイン名 (*avg.com など*)のリストを編集できます。

既にスパム送信者やドメイン名のリストがある場合は、各メールアドレスを直接入力するか、一度にア ドレスの全リストをインポートすることでリストを入力できます。次のコントロールボタンを利用できます。

- *編集 このボタンをクリックするとダイアログが開きます。このダイアログでは、手動でアドレスのリストを入力できます (コピーと貼り付け*も使用できます)。各行に1項目(送信者、ドメイン名)を入力します。
- インボート このボタンをクリックすると 既存の電子 メール アドレスをインポートできます。テキスト ファイル (各行 にアドレスまたはドメイン名の1項目のみを記載したプレーン テキスト形式)または WAB ファイルを入力できます。あるいは、Windows アドレス帳または Microsoft Office Outlook からインポートできます。
- **エクスポート**-何らかの目的でレコードをエクスポートする場合は、このボタンをクリックします。すべてのレコードがプレーンテキスト形式で保存されます。



7.7. プラックリスト

[プラックリスト] 項目は、常にスパム送信者としてブロックするメール アドレスとドメイン名のグローバル リストが表示されるダイアログを開きます。

🏭 AVG 高度な設定	
Avg 高度な設定 ・	プロックされたメール送信者リスト プロックされたメール送信者リスト 「 「 編集 エクスポート インポート
<i>う</i> プフォルト	(*) OKキャンセル(*) 適用

編集 インターフェースでは、望ましくないメッセージ (スパム) を送信 すると思われる送信者のリストを編 集できます。また、スパム メッセージを送信するドメイン名リスト (spammingcompany.com など) も編集 できます。リストにあるアドレスとドメインから送信 されるメールはすべてスパムと見なされます。

既にスパム送信者やドメイン名のリストがある場合は、各メールアドレスを直接入力するか、一度にア ドレスの全リストをインポートすることでリストを入力できます。次のコントロールボタンを利用できます。

- *編集 このボタンをクリックするとダイアログが開きます。このダイアログでは、手動でアドレスのリストを入力できます (コピーと貼り付け*も使用できます)。各行に1項目(送信者、ドメイン名)を入力します。
- インボート このボタンをクリックすると、既存の電子メールアドレスをインポートできます。テキストファイル(各行にアドレスまたはドメイン名の1項目のみを記載したプレーンテキスト形式)またはWABファイルを入力できます。あるいは、Windowsアドレス帳またはMicrosoftOffice Outlookからインポートできます。
- **エクスポート**-何らかの目的でレコードをエクスポートする場合は、このボタンをクリックします。すべてのレコードがプレーンテキスト形式で保存されます。



7.8. エキスパート設定

通常はデフォルト設定を保持し、合理的な理由がある場合にのみ設定を変更することを推奨 します。この設定の変更は経験のあるユーザーのみが行ってください。

スパム対策の設定をエキスパートレベルで変更するやむを得ない事情がある場合は、直接ユーザーインターフェースの指示に従ってください。一般的には、各ダイアログでは1つの特定の機能の確認と編集ができます。その説明は常にダイアログに表示されます。

- **キャッシュ**-フィンガープリント、ドメイン レピュテーション、LegitRepute
- **トレーニング**-最大ワードエントリ自動学習しきい値、重み
- **フィルタリング**-言語リスト、国リスト、許可されたIP、ブロックするIP、ブロックする国、ブロック する文字セット、スプーフィング送信者
- RBL RBL サーバー、マルチビント、しきい値、タイムアウト、最大 IP
- **インターネット接続** タイムアウト、プロキ シサーバー、プロキシ認証



8. AVG 設定マネージャ

AVG 設定 マネージャは主に、AVG 設定をコピー、編集、配布ができる小規模ネットワークに適したツ ールです。設定をポータブルデバイス (USB フラッシュドライバなど)に保存して、選択したステーション に手動で適用できます。

ツールは AVG インストールに含まれており、Windows の [スタート] メニューから利用可能です。

すべてのプログラム/AVG 2012/AVG 設 定 マネージャ

🛂 AVG 設定マネージャ	
	AVG 設定マネージャ 複数のコンピュータで AVG 設定を構成して保存
T CA	AVG 設定 AVG 設定を編集 AVG 設定をロードして編集
	AVG ファイアウォール 設定 ファイアウォール 設定を編集 ファイアウォール 設定をロードして編集
	ロード オプション 保存された設定を AVG にロード
V	保存オプション ローカル AVG 設定をファイルに保存
	コピーオプション 回じ設定をネットワーク全体に適用

- AVG 設定
 - AVG 設定の編集 このリンクを使用するとローカル AVG の高度な設定ダイアログを 開きます。ここで行われたすべての変更は、ローカル AVG インストールにも反映されます。
 - AVG 設定のロードと編集 既に AVG 設定 ファイル (.pck) がある場合は、このボタンを使用してファイルを開き、編集します。[OK] または [適用]ボタンをクリックして変更を確定すると、ファイルは新しい設定に置き換えられます。
- AVG ファイアウォール設 定

このセクションでは、ローカル AVG インストールのファイアウォール設定の変更や、既に準備されている AVG 設定ファイル (.pck) のファイアウォール設定の変更ができます。ただし、AVG Email Server Edition 2012 にファイアウォール コンポーネントが含まれない場合、リンクがグレイ表示されて機能しなくないます。

- ロードオプション
 - 保存した設定をAVG にロード-このリンクを使用するとAVG設定ファイル (.pck)が 開き、AVGのローカルインストールに適用されます。



- 保存オプション
 - の
 ーカル AVG 設定をファイルに保存
 - このリンクを使用すると
 ローカル AVG インス
 トールの AVG 設定ファイルを保存します。
 [許可されたアクション]にパスワードを設定し
 なかった場合は、次のダイアログが表示されることがあります。

🏭 avgsetmgr	
AVG.	設定マネージャ の使用はパスワード保護されていません。 このステーションの新規パスワードを作成しますか?同じパスワードが作成された設定パッケージで使われます。
	(はい) いれえ キャンセル

許可 された項目 へのアクセスにパスワードを設定 する場合は、[**はい**] をクリックして必要な項目に情報を入力してから入力内容を確認します。パスワードの作成をスキップし、ローカル AVG 設定をファイルに保存する場合は [**リリス**] をクリックします。

- コピーオプション
 - 同じ設定をネットワーク全体に適用 このリンクをクリックするとカスタムオプションで インストールパッケージを作成し、ローカルAVGのコピーを作成できます。クローンに は、次の設定を除くほとんどのAVG設定を含めることができます。
 - ✓言語設定
 - ✓ サウンド設定
 - ✓ 個人情報保護コンポーネントの許可されたリストと不審なプログラム例外

実行するには、まずインストールスクリプトを保存するフォルダを選択します。

🏭 AVG セットアップファイルの場所			X
「インストールスクリプトが保存されるフォルダを選択してください	,ìo		
インストール進捗を表示	非表示のインストール		
ー レーンース AVG インストールパッケージーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーー			
インターネットの最新の AVG 2012 を選択されたフォルダ(にダウンロード		
		プロキシ	ダウンロード
		ОК	キャンセル

次 に、ドロップダウン メニューから次 のいずれかを選択します。

- ✓ インストールを表示しない セットアップ処理中は情報が一切表示されません。
- ✓ インストールの進行状況のみを表示する-インストール中にユーザー操作は必要はありません。進行状況のみが表示されます。



✓ インストール ウィザードを表示する-インストールステップが表示され、ユーザーはすべてのステップを手動で確定する必要があります。

[**ダウンロード**] ボタンをクリックして、最新の AVG インストール パッケージを AVG Web サイトから選択 しフォルダに直接 ダウンロードするか、AVG インストール パッケージを手動 でフォルダに保存 します。

プロキシ サーバーを設定してネットワーク接続する必要がある場合は、[**プロキシ**] ボタンをクリックしてプロキシ サーバーを定義できます。

[OK] ボタンをクリックすると コピー処理が開始され、短時間で完了します。許可された 項目(前述の説明を参照)の設定パスワードを確認するダイアログが表示される場合 があります。完了すると AvgSetup.bat が選択したフォルダに保存され、その他のファイ ルとともに利用可能になります。AvgSet.bat ファイルを実行すると前の手順で選択し たパラメータに基づいて AVG がインストールされます。



9. FAQ およびテクニカル サポート

AVG に関する問題がある場合、購入に関する問題、技術的問題にかかわらず、AVG Web サイト(*http://www.avg.com*)の <u>FAQ</u> を参照してください。

この方法でヘルプが見つからない場合は、電子メールでテクニカルサポート部門までお問い合わせください。システムメニューのヘルプ/オンラインヘルプより、お問い合わせフォームをご利用ください。